

森林を守り育てる ～わたしたちができること～

「森林を守る」というのは、何もせず見守ることではありません。山形県の森林は、山形県に住むわたしたちが利用することにより健康な姿を保ってきました。木を切って使うことが、新たな木の成長を促すことにつながり、その繰り返しで森林を守ることになります。

地域の木材を使う

自分で木を切って使う人は少ないかもしれませんが、地域の木材が使われた製品を積極的に利用することで、地域で木を切る人の生活を支え、森林を守るにつながります。



森づくり活動を行う

里山を自分たちで守るため、ボランティア活動も盛んに行われています。植えた木を大きく育てるためには、長い時間と継続的な手入れが必要です。身近な場所で行われている森づくり活動に参加してみましょう。



森林・林業を知る

山形県立農林大学校（新庄市）には、森づくりの技術や、木材の加工、山菜やきのこなど、森林と林業に関する幅広い知識と専門技術について学ぶ「林業経営学科」があります。

林業機械やチェーンソーなどの機械操作の資格を取得し、実践的な技術を学ぶことができます。

卒業生インタビュー



五十嵐 瑠斗さん
(令和2年度卒)

Q どうして農林大学校に進学したのですか？

子どもの頃から自然の中で遊ぶのが大好きで、将来はふるさと
の森林を守りたいと思うようになりました。林業をする
ならば、現場で即戦力となれる技術が欲しいと思ったからです。

Q 学校での日々はどのような感じでしたか？

実践的な講義が多く、学んだ技術はそのまま現場で使えるもの
ばかり。良い学びの日々でしたし、同級生の仲間にも恵まれ、み
んなそれぞれ現場で活躍しているの、はげみになります。

Q 林業の仕事の魅力はなんですか？

自分が手入れした山がきれいになっていく達成感は、どの経験
にも代えられません。大きなやりがいを感じています。

あなたははどうする？ ～山形県の森林のためにできること～

これからあなたが取り組みたいと思うことを書き出してみよう。